

女性研究者支援システム改革

女性研究者養成システム改革加速

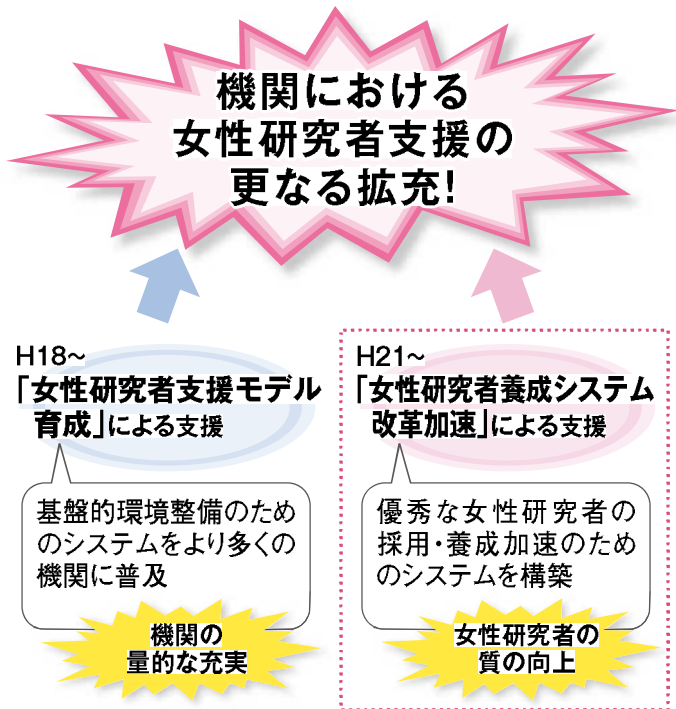
目的 多様な人材の養成・確保及び男女共同参画の推進の観点から、特に女性研究者の採用割合等が低い分野である、理学系・工学系・農学系の研究を行う優れた女性研究者の養成を加速する。本プログラムを実施し、機関におけるシステム改革に効果的な分野・規模で当該女性研究者の採用を行うことにより、人材の多様化、研究の活性化及び男女共同参画意識の醸成、さらには、機関として本来取り組まなければならない柔軟な組織編成や環境整備等を同時に促進し、総合的なシステム改革の構築を目指す。

対象機関 大学、大学共同利用機関、国立試験研究機関及び独立行政法人

実施期間 原則5年間(3年目に中間評価)

支援の上限 原則として初年度は半年分4千万円、2年目以降は年間8千万円(間接経費を含む)を上限

■ 女性研究者支援のイメージ図



■ 女性研究者を巡る現状

- ◆ 女性研究者の割合は少しずつ増加しているものの、欧米に比べて著しく低い状況。現状の伸び(平成20年度末は13.0%で、前年度同)では、「男女共同参画基本計画(第2次)」(平成17年12月27日閣議決定)に掲げられた数値目標の30%を2020年までに達成することは困難。
- ◆ また、「第3期科学技術基本計画」(平成18年3月28日閣議決定)に掲げられた女性研究者の採用割合の数値目標である、自然科学系全体で25%(理学系20%、工学系15%、農学系30%、保健系30%)を2010年度までに達成することが求められているが、特に理学系、工学系、農学系において達成できておらず、当該分野の女性研究者の養成を加速することが必要。

優れた女性研究者の養成を加速するシステムの確立と定着

選定に当たっての要件

- ◆ 機関において「男女共同参画」のための多様な環境整備や支援がシステムとして独自に構築されているか
- ◆ 養成計画が数値目標も含めて具体的であり、養成システムの構築に向けてのミッションが明確か
- ◆ 5年間の支援期間における新規養成女性研究者の採用計画に基づき、継続的に女性研究者を養成する予定があるか
- ◆ 実施期間終了後の、理学系・工学系・農学系の研究を行う女性研究者の採用計画を数値目標として具体的に設定し、定着に向けた継続性を確保しているか 等

「女性研究者養成システム改革加速」採択課題一覧

■ 平成21年度採択課題

提案課題名	機関名	代表者名
京大式女性研究者養成コーディネートプラン	京都大学	松本 紘
女性枠設定による教員採用・養成システム	九州大学	有川 節夫
理系女性のキャリア加速プログラム	東京農工大学	小畑 秀文
杜の都ジャンプアップ事業 for 2013	東北大学	井上 明久
輝け、女性研究者!根を張れ、花咲け、実を結べ@北大	北海道大学	佐伯 浩

※申請順